

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--|--------------------------------------|--|
| ○事業所名 | 児童デイサービスみかん東難波 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年12月2日 0:00 | | 2024年12月25日 0:00 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 15 | (回答者数) 8 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年12月2日 0:00 | | 2024年12月25日 0:00 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年1月7日 | | |
| ○分析結果 | | | |
| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
| 1 | 保護者からの話を真摯に受け止め、できる限りの対応をしている。 | 保護者からの意見や要望に対し、柔軟に対応するよう意識している。 | 引き続き、対応の質を向上させるため、定期的なフィードバックの機会を設ける。 |
| 2 | スタッフ間の連携が取れている。 | 日々のミーティングや記録共有を通じて情報を共有している。 | さらなる連携強化のため、定期的な振り返りや意見交換の場を設ける。 |
| 3 | スタッフ1人1人が安全面に対して意識して支援にあたっている。 | 日頃から気づきや改善点について、職員同士で意見を出し合い、共有している。 | 事故防止に向けた研修やケーススタディを取り入れ、安全意識をさらに向上させる。 |
| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
| 1 | スタッフ間での研修や勉強会の機会が少ない。 | 業務の合間に時間を確保するのが難しい。 | 短時間の研修を定期的実施し、オンライン研修の活用も検討する。 |
| 2 | 地域の他機関との連携が十分ではない。 | 交流の機会が少なく、情報共有が難しい。 | 関係機関との情報交換の場を設け、合同研修やミーティングを実施する。 |
| 3 | 保護者同士の交流機会が少ない。 | 忙しさやタイミングが合わず、交流の場が設けにくい。 | 定期的な保護者交流会を企画し、オンラインなど柔軟な方法で実施する。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 児童デイサービスみかん東難波 | | | | | 公表日 | 2025年2月28日 | | | |
|----------------------|----------------|---|---------------|-----|-------|-------|--------------------------------|---------------------------|----|--|
| | | | | | | 利用児童数 | 15 | 回収数 | 13 | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 12 | 1 | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| 適切 な支 援の 提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 4 | 2 | 1 | 6 | | 継続して行なっていく。 | | |
| 保護 者へ の説 明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 6 | 2 | 2 | 3 | ただし個別で全て確認してくれたり、アドバイスを受けたりする。 | 今後も引き続きこまめな共有を心掛けた対応をしていく | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 12 | 1 | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 2 | 2 | 2 | 7 | | 継続して行なっていく。 | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|--|---|---------------------------------|---------------------------|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 9 | 2 | | 2 | | 継続して行なっていく。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 12 | 1 | | | | 継続して行なっていく。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 12 | | | 1 | | 継続して行なっていく。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 8 | 1 | | 4 | | 継続して行なっていく。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 13 | | | | | 継続して行なっていく。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 12 | | | 1 | | 継続して行なっていく。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 13 | | | | 送迎時などたくさん話をしてくれて様子を知ることができています。 | 今後も引き続きこまめな共有を心掛けた対応をしていく |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 13 | | | | とても楽しみにしています。いつも楽しみにしています。 | 今後も引き続きこまめな共有を心掛けた対応をしていく |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 13 | | | | 安心して利用できています。 | 今後も引き続きこまめな共有を心掛けた対応をしていく |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 児童デイサービスみかん東難波 | | | | 公表日 | 2025年2月28日 |
|---------|----------------|--|-----------------------|-----------------------|---|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | <input type="radio"/> | | 定員5名で車椅子、バギーでも十分スペースが取れる配置を行っている。 | 継続して適切な環境を維持する。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | <input type="radio"/> | | 定められている人員配置基準は満たしている 欠席など出たときは他の店舗より応援を要請している。 | 急なスタッフの退職時の対応策として、代替要員の確保や採用計画を検討する。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | <input type="radio"/> | | 車椅子やバギーで移動しやすいスペース、段差のないように配慮している。 | 継続して環境整備を行い、よりわかりやすい環境づくりを検討する。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | <input type="radio"/> | | 業務終了後清掃、消毒を行っている。 | 継続して清潔な環境を維持する。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | | <input type="radio"/> | 設備的に個別の部屋の確保は難しい。 | 設備的に個別の部屋の確保が難しいため、パーティションなどを活用し、より柔軟な空間づくりを検討する。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | <input type="radio"/> | | スタッフ同士で情報を共有しあい振り返りも行っている。 | 新しいスタッフが来た時の周知方法を工夫し、効果的な引き継ぎを行う。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | 貴重な意見として真摯に受け止め不備がある場合はスタッフ間で話し合いの場を設けている。 | スタッフ全員が揃う会議の確保が難しいため、情報共有ツールを活用するなど、代替方法を検討する。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | 日頃からスタッフとコミュニケーションをとり意見を聞くようにしている。 | 自ら意見を言いにくい職員に対する配慮として、個別の意見聴取の場を設けるなどの工夫を行う。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | <input type="radio"/> | 現状できていない | 評価の具体的な方法を検討し、第三者による評価を取り入れる仕組みを整える。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | <input type="radio"/> | | スタッフ間で勉強会を行ったり可能な限り外部研修へは参加している | 参加できない職員のために、研修内容の共有方法を工夫し、学びを広げる。 |
| 適切な支 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | | <input type="radio"/> | 大まかな支援プログラムはあるが公表はしていないのが現状である。 | 公表の方法を検討し、支援内容がより明確に伝わるよう工夫する。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | <input type="radio"/> | | 半年に1回見直し、面談行い計画書をたてるための情報としている。 | 継続して適切な計画作成を行う。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | <input type="radio"/> | | 計画原案を立ててそれに基づき支援会議を行い共通理解している。 | 参加できない職員との情報共有を強化し、理解度を高める。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | <input type="radio"/> | | 計画書はスタッフ間で共有できている。 | 継続して支援計画の共有を行う。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | <input type="radio"/> | | 日々の様子や活動内容は記録として残している。 | 継続して観察や記録を行い、必要に応じて評価ツールの導入を検討する。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | <input type="radio"/> | | 計画書内で設定し、スタッフ間で周知している。その内容沿っての支援も行っている。 | 継続して支援計画の質を向上させる。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | <input type="radio"/> | | スタッフ間でプログラムについての話し合いを行なっている。 | 継続して職員間の意見交換を行う。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|----------------------------------|
| 援の提供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 季節ごとにプログラムを変えるなど工夫している。 | 継続して季節やこどもの興味に応じたプログラムを実施する。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 計画原案を立ててそれに基づき支援会議を行い共通理解している。 | 継続して支援計画に基づいた活動を実施する。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | スタッフ同士で情報を共有しあい振り返りも行っている。 | 継続して職員間の連携を強化する。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | スタッフ同士で情報を共有しあい振り返りも行っている。 | 継続して職員間の振り返りを行う。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 日々の様子や活動内容は記録として残している。 | 継続して記録を行い、活用を促進する。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 半年に1回見直し、面談行い計画書をたてるための情報としている。 | 継続して適切な見直しを行う。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | | ○ | 4つの基本活動は理解しているが支援に組み込めていない。 | どのように組み込むかを検討し、具体的な支援に反映する。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | | ○ | 活動時やおやつなどどっちがいいか選んでもらう機会は作っているがスタッフ主導でうごいてしまっていることも多々ある。 | 活動時の選択肢を増やし、自己決定を促進する支援を意識する。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | | ○ | 現状会議という形では行っていない。 | 関係機関との連携を強化し、情報共有の場を増やす。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 定期的な嘱託医が往診にきている。 | 継続して関係機関との連携を図る。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 学校へ迎えに行った時など先生と様子の確認をしたり情報共有は行っている。 | 継続して学校との連携を強化する。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | | ○ | 現状対象児がいない。 | 対象児がいる場合、早めに情報共有を行う体制を整える。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | 現状対象児がいない。 | 研修情報を収 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | | ○ | 現状行っていない。 | 交流の機会がないため、連携できる機関への働きかけを行う。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | ○ | 現状行っていない。 | 参加の機会を増やすために情報収集を行い、積極的に参加を検討する。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | | ○ | 現状行っていない。 | 継続して保護者との情報共有を密に行う。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 日頃から保護者と密に連絡は取り合っている。 | 現状は個別対応が中心のため、保護者全体向けの研修機会を検討する。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | ○ | 現状行っていない。 | 継続して丁寧な説明を行い、保護者の理解を深める。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 行なっている。質問などがあつた時は都度対応している。 | 継続して意向を丁寧に聞き取り、計画に反映する。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | 日頃から連絡を取り合いながら意向なども聞くことができています。 | 継続して説明の充実を図る。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | 行っている。 | 継続して相談しやすい環境を整える。 |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|--------------------------|---|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 相談や質問などがあった時はその都度対応している。 | 保護者交流の場が少ないため、定期的な交流会の開催を検討する。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | | ○ | 現状行えていない。 | 相談窓口の周知を徹底し、対応の迅速化を図る。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 苦情があった場合は保護者へ管理者から連絡し、内容の共有をスタッフ間で行い、記録もしている。 | 月1回のおたよりを継続し、SNSの活用についても検討する。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 月に1回広報を作成して保護者へ配布している。 | 継続して適切な管理を行う。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 書類に関しては鍵付き書庫にて保管している。 | 継続して適切な配慮を行う。 |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 日頃から保護者と密に連絡は取り合えている。 | 現状は行えていないため、地域イベントへの参加や行事の提案を検討する。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | 現状行えていない。 | マニュアルはあるが、実践的な訓練が不足しているため、必要な訓練を把握し実施計画を立てる。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | | ○ | マニュアルはあるが、訓練は行えていない。 | 避難訓練以外の対策が不足しているため、他のリスクへの備えも検討する。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 避難訓練は年2回行っている。 | 継続して保護者との情報共有を徹底する。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 保護者と情報共有はできている。 | 現状は保護者の意向により対応なし。今後、必要が生じた際には適切に対応できる体制を整える。 |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | 保護者の意向でアレルギー対策は現在行っていない。 | 計画書としての書類がないため、安全管理計画の策定を進める。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | | ○ | 安全管理は行っているが、計画書としての書類は残せていない。 | 現状、安全計画がないため、今後作成し保護者にも共有する。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | | ○ | 安全計画の書式がない。 | 気づきの記録は行っているが、話し合いができていない時があるため、振り返りの場を確保する。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | | ○ | 気づきをしっかり行いデータとして残している。 | 出勤頻度が少ない職員への周知が遅れることがあるため、共有方法を工夫する。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 虐待防止委員会を設置しそこで話あった内容を店舗に持ち帰り周知している。 | 計画書の見直しや改善が不足しているため、定期的に内容を確認し、適切に更新する。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | 計画書に記載し、別で同意書も書いてもらっている。 | 継続して職員間での共通理解を図るとともに、必要に応じて見直しを行う。 | |